

令和5年度

事業報告書



社会福祉法人 鹿屋市社会福祉協議会

I 令和5年度事業実績概要

少子高齢・人口減少社会の進展，新型コロナウイルス感染症の影響による活動自粛の長期化，急激な物価高騰などにより地域社会においては，人と人とのつながりの希薄化による社会的孤立や生活困窮世帯の増加など地域住民が抱える課題や支援ニーズも複雑化・複合化しています。

地域福祉の推進を使命とする社会福祉協議会には，国が提唱する「地域共生社会」や「接続可能な開発目標（SDGs）」の実現に向けて取り組んだところです。

このような状況の中，令和5年度は，地域住民が地域生活課題を包括的に受け止め，主体的に解決を試みる体制の構築，総合的な権利擁護支援の充実，福祉教育やボランティア活動の推進など，本年度も住民組織や関係機関・団体，ボランティア，専門機関などと連携・協働し，地域共生社会の実現に向けた各種事業や活動を積極的に取り組んだところです。

また，これまで本会が進めてきた介護保険事業の見直し方針に基づく効果的で効率的な介護サービス事業の運営についても，厳しい財政状況のなか，組織・財政の基盤をより強化し，安定した経営に努めたところです。

《 重点項目 》

- 1 組織・財政基盤の強化
- 2 地域福祉活動の推進
- 3 権利擁護推進センターの円滑な運営
- 4 障がい者基幹相談支援センターの関係機関との連携強化
- 5 市指定管理施設の適正な管理運営と利用促進
- 6 介護保険事業の効果的・効率的な運営

Ⅱ 事業実績

総務課所管

1 法人運営事業の実施

(1) 役員会等の開催

① 理事会の開催 (4回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 6月1日(木)	理事 10人 監事 3人 計 13人	【議事内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告の承認 ・令和4年度会計収支決算の承認 ・令和5年度会計補正予算(第1号)の承認 ・理事定数の改正に伴う定款変更の承認 ・理事・監事・評議員選任規程の一部改正の承認 ・職員就業規則の一部改正の承認 ・嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・居宅介護等事業, 居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・居宅介護等事業, 居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・次期理事候補者の推薦の承認 ・次期監事候補者の推薦の承認 ・評議員候補者の推薦の承認 ・評議員選任・解任委員会の招集の承認 ・第1回定時評議員会の招集の承認 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・会長の職務執行状況(令和5年3月)
第2回 6月28日(水)	理事 11人 監事 3人 計 14人	<ul style="list-style-type: none"> ・会長・副会長の選定の承認 ・第3者委員の選考の承認
第3回 12月8日(金)	理事 11人 監事 3人 計 14人	【議事内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度会計補正予算(第2号)の承認 ・職員就業規則の一部改正の承認 ・嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・居宅介護等事業, 居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する嘱託職員の就業等に関する規程の一部改正の承認

		<ul style="list-style-type: none"> ・居宅介護等事業, 居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する非常勤職員の就業等に関する規程の一部改正の承認 ・第2回定時評議員会の招集 【報告】 <ul style="list-style-type: none"> ・会長の職務執行状況(令和5年5月~令和5年10月)
第4回 3月15日(金)	理事 11人 監事 3人 計 14人	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度会計補正予算(第3号)の承認 ・令和6年度事業計画の承認 ・令和6年度会計予算の承認 ・事務局規程の一部改正の承認 ・経理規程の一部改正の承認 ・表彰規程の一部改正の承認 ・第3回評議員会の招集の承認

② 評議員会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項等
第1回 (定時評議員会) 6月23日(金)	評議員 17人 監事 1人 計 18人	【議事内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度事業報告の承認 ・令和4年度会計収支決算の承認 ・令和5年度会計補正予算(第1号)の承認 ・定款の一部改正の承認 ・理事・監事・評議員選任規程の一部改正の承認 ・次期理事の選任の承認 ・次期監事の選任の承認
第2回 12月20日(水)	評議員 14人	【議事内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度会計補正予算(第2号)の承認
第3回 3月26日(火)	評議員 21人	【議事内容】 <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度会計補正予算(第3号)の承認 ・令和6年度事業計画の承認 ・令和6年度会計予算の承認

③ 正副会長会の開催 (3回)

開催日	出席者数	審議事項
第1回 5月23日(火)	3人	第1回理事会及び定時評議員会上程議案の承認
第2回 11月30日(木)	3人	第3回理事会及び第2回評議員会上程議案の承認
第3回 3月6日(水)	3人	第4回理事会及び第3回評議員会上程議案の承認

④ 監事監査の実施 (1回)

開催日	出席者数	監査事項
5月16日(火)	3人	令和4年度業務執行の状況及び会計収支決算等

⑤ 監事による業務執行調査の実施

開催日	出席者数	監査事項
5月17日(水)	3人	介護保険事業所の視察(本所分室, 輝北支所)

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

開催日	出席者数	審議事項
6月5日(月)	5人	・評議員(1人)の選任

(3) 定款・規程・規則の一部改正

一部改正	定款	・理事定数の変更
	規則1 規程7	・職員就業規則 ・理事・監事・評議員選任規程 ・嘱託職員の就業等に関する規程 ・居宅介護等事業, 居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する嘱託職員の就業等に関する規程 ・居宅介護等事業, 居宅介護支援事業及び訪問入浴介護事業に従事する非常勤職員の就業等に関する規程 ・事務局規程 ・経理規程 ・表彰規程

(4) 事業推進体制の見直し

① 事業評価(振り返り)の実施

対象事業(事業区分)	実施期間
26事業(自主事業・補助事業・受託事業・指定管理事業)	8月22日～8月30日

(5) 財政基盤・財務規律の強化

① 社会福祉法人会計基準や経理規程に基づく, 適正な財務会計処理の執行

ア 会計処理等業務の指導, 助言等の委託(風呂井会計事務所)
イ 積立資産の資金運用等に係る情報収集(証券会社より)
ウ 固定資産等財産の適正管理
エ 内部監査の実施(11月28日)

② 自主財源・公的財源の確保, 経費節減の実施等

ア 自主財源	・会費, 寄附金, 共同募金配分金の安定的確保 ・広告掲載事業の実施(社協だよりに広告を掲載: 4回) ・寄附金付き清涼飲料水自販機の設置(4台)
イ 公的財源	・補助金, 受託金等の安定的確保
ウ 経費節減	・随意契約の見直し(複数の見積りを徴取)

(6) 広報・啓発活動の充実強化

当会の事業等について, 広く理解と関心を深めていただくため, 市民や関係機関・団体等に対し, 次の広報・啓発に努めた。

① 社協だよりの発行（4回）

号数	発行日	発行部数	備 考
第 60 号	4 月 28 日	42,000 部	町内会全戸等に配布 (A4, 12 頁, 両面カラー印刷)
第 61 号	7 月 13 日	42,000 部	
第 62 号	10 月 27 日	42,000 部	
第 63 号	1 月 12 日	42,000 部	

② 各支所広報誌の発行

区 分	広報誌の名称	発行月／配布部数
吾平支所	吾平福祉ふれあい便り	10 月発行 吾平地域の町内会 2,360 世帯に配布 3 月発行 吾平地域の町内会 2,360 世帯に配布
輝北支所	輝北ふれあいセンターだより	9 月発行 輝北地域の町内会 1,200 世帯に配付 1 月発行 輝北地域の自治会回覧（175 班）配付
串良支所	かのや社協だより「串良版」	2 月発行 串良地域の町内会 3,828 世帯に配布

③ 当会ホームページによる広報や情報提供（随時）

区 分	実績件数	対前年度比	備 考
掲載件数	51 件	19 件	イベント・講習会、職員採用情報等
改正件数	22 件	18 件	社協事業掲載事項の変更
閲覧件数	27,122 件	△1,032 件	ホームページの検索件数

④ その他

本所・本所分室及び各支所の施設内ロビー等に当会事業紹介パネルの展示（常設）

(7) 社協会員制度の周知と加入促進

当会会員制度について、社協だよりに掲載するなどし、周知と加入促進に努めた。

会員の種類	会費の金額	加入実績	会費実績	対前年度比
一般会員	1 世帯 300 円	27,853 世帯	5,435,610 円	△84,300 円
団体会員	1 口 3,000 円	34 団体(73 口)	219,000 円	12,000 円
特別会員	1 口 10,000 円	55 会員(59 口)	590,000 円	40,000 円
合 計			6,244,610 円	△32,300 円

(8) 社会福祉功労者・団体の表彰

永年にわたり、社会福祉事業に従事し、功労のあったもの及び社会福祉活動に協力、援助し功績のあった団体・個人等に対して、当会表彰規程に基づき表彰を行った。

表彰状と記念品の贈呈

贈呈先	団体	4団体	・吾平町中央東町内会あんしん安全見守り隊 ・古前城見守り協力員 ・川東見守り隊 ・緑山声かけ隊
	個人	2人	・ボランティア個人

(9) 職員の確保と育成

① 正規職員の採用

ア 受験応募者数	13人(男性2人, 女性11人)			
イ 採用試験実施日 及び受験者数	第1次試験	1月28日(日)	受験者数	6人
	第2次試験	2月18日(日)		5人
ウ 採用候補者選考委員会	1月22日(月)・2月2日(金)・2月18日(日)開催			
エ 採用年月日・人数	採用年月日	令和6年4月1日		
	採用人数	1人(男性)		

② 職員の育成

階層別研修の実施 (新規採用職員研修9名)	・内部研修(4日間:社協業務全般等) ・外部研修(2日間:社会福祉施設等新任職員研修)
--------------------------	--

(10) 職員の労務管理, 健康管理

労働法令等に基づき, 適正に職員の労務と健康の管理等を行った。

ア 職員の健康診断, ストレスチェックの実施	1回(全職員が対象)
イ 産業医による職場巡視(健康相談)	9回(本所, 本所分室, 各支所)
ウ 衛生委員会の開催	12回
オ 衛生管理者による職場巡回視察	2回(本所, 本所分室, 各支所)

(11) 経営の透明性の確保と情報公開

ア 社会福祉法人現況報告書を市へ提出(法令に基づく情報公開)	6月30日
イ 当会ホームページ掲載による情報公開(定款, 予算, 決算等)	随時

(12) 役職員等の研修

当会役職員を対象に, 内部研修を実施するとともに外部機関・団体等が実施する研修会等に出席するなどし, 役職員の資質と専門性の向上に努めた。

研修内容	実施回数	延べ出席者数
役員等研修会	1回	1人
理事・監事・評議員研修会	2回	36人
職員内部研修会	18回	374人
県社協等外部機関団体等が主催する研修会	65回	176人

(13) 地域における公益的な取り組みの実施

市民の健康増進等を目的とした講座を3回シリーズで開催

つぼと健康講座	日 時	令和5年10月11日(水)～令和5年12月6日(水) 13時50分～15時20分
	場 所	情報研修室(全室)
	延参加人数	109名
	講 師	泊 平八郎 氏 (鹿児島鍼灸専門学校同窓会会長)
シニア向け 音楽療法講座	日 時	令和5年10月27日(金)～令和5年11月29日(水) 14時00分～15時30分
	場 所	リハーサル室
	延参加人数	105名
	講 師	坂中 慈子 氏 (日本音楽療法学会認定音楽療法士)
傾 聴 講 座	日 時	令和5年11月10日(金)～令和5年12月15日(金) 13時30分～15時00分
	場 所	情報研修室(全室)
	延参加人数	34名
	講 師	江並 智子 氏 (NPO法人かごしまメンタルパートナー協会理事長)
子 育 て 講 座	日 時	令和5年10月16日(月)～令和5年12月12日(火) 10時00分～11時30分
	場 所	情報研修室(全室)
	延参加人数	24名
	講 師	①砂原 加津子 氏 ②有村 みゆき 氏 (日本赤十字社鹿児島県支部幼児安全指導員)
終 活 講 座	日 時	令和5年10月2日(月)～令和5年10月30日(月) 14時00分～15時30分
	場 所	情報研修室(全室)
	延参加人数	163名
	講 師	重富 琢也 氏(法テラス鹿屋法律事務所)

(14) 福祉人材等の育成

社会福祉士、看護師を目指す学生に、人材育成の一環として、次の実習の場を提供した。

学校名	人数	内 容	実習期間(日数)
鹿屋看護専門学校	30人	地域・在宅看護論現場実習	7/3～7/13(8日間)

(15) 鹿屋市民生委員児童委員協議会事務局業務の受託

市民生委員児童委員協議会協議会の事務局業務を受託し、同協議会の活動の円滑な推進を図った。

業務内容	業務実績
ア 会務の運営	会計, 庶務, 表彰等
イ 会議等の開催	総会(1回), 役員会(13回), 会長会(11回), 会長・副会長会(1回) 地域交流会企画委員会(1回), 監事監査(1回)
ウ 研修の実施	全体研修会(2回), 会長・副会長研修会(1回), 会計担当者研修会(1回), 会長・主任児童委員との合同研修会(1回)
エ その他	①鹿屋市民生委員創設 100 周年記念碑除幕式 (7月) ②鹿屋市における民生委員制度創設 100 周年記念大会 (8月)

(16) 大隅地区社会福祉協議会連絡協議会事務局の運営

大隅地区内 4 市 5 町の社会福祉協議会の相互連携や地域福祉活動の充実を図ることを目的に大隅地区社会福祉協議会連絡協議会の事務局業務を行った。

業務内容	業務実績
ア 会務の運営	会計, 庶務
イ 研修の実施	研修会(2回), 情報交換会(1回)

(17) 関係機関・団体等との連携・協調

当会の運営及び事業実施のため、関係機関・団体との連携・協調に努めた。

2 社会福祉施設等の管理運営等

(1) 鹿屋市社会福祉会館の管理運営

地域福祉活動の拠点施設として、適切かつ効率的な管理・運営に努めた。

- ① 利用件数 317 件 (対前年度比 16 件の減)
- ② 利用者数 2,552 人 (対前年度比 90 人の増)
- ③ 区分別利用件数及び利用者数

区 分	利用件数	利用者数	区 分	利用件数	利用者数
社 協 関 係	224 件	1,795 人	行 政 関 係	6 件	177 人
福 祉 団 体	29 件	177 人	そ の 他	0 件	0 人
福 祉 協 力 団 体	58 件	403 人	合 計	317 件	2,552 人

④ その他

- ・社会福祉会館駐車場白線施行及びグレーチング設置工事
- ・社会福祉会館前 2 階冷暖房修繕工事

3 鹿屋市指定管理施設の適正な管理運営

高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うと共に、誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として、サービスの質の向上と運営の効率化を図りながら、適切な運営管理に努めた。

(1) 鹿屋市輝北ふれあいセンターの管理運営

① 利用者数 24,956人(内訳は下記のとおり)

区 分	年間利用者数(対前年度比)	区 分	年間利用者数(対前年度比)
社協関係	2,975人(57人の減)	温泉公衆浴場	17,009人(476人の増)
福祉団体	377人(19人の減)	やすらぎサロン	3,061人(65人の減)
福祉協力団体	255人(20人の減)	その他 (一般)	860人(414人の減)
市役所関係	419人(219人の減)		
合 計		24,956人(188人の減)	

② 温泉入浴サービス事業の実施(温泉公衆浴場利用実績)※()は前年度対比

営業日数及び時間		295日(4~10月)9:00~20:00, (11~3月)9:00~19:00					
利用 実績	大人 (1回券)	男	6,598人(105人の減)	大人 (1日券)	男	0人(9人の減)	
		女	9,786人(554人の増)		女	72人(31人の減)	
	子供 (1回券)	男	88人(1人の増)	乳幼児 (無料)	男	68人(±0)	
		女	112人(9人の増)		女	285人(53人の増)	
合 計						17,009人(476人の増)	
1日平均利用者数						58人(6人の増)	

③ 輝北ふれあいセンター運営協議会の開催(1回)

日 時	令和5年7月26日(水)10:30~11:20
場 所	輝北ふれあいセンター 会議室
協 議 内 容	ふれあいセンターの活性化策について
出 席 者 数	委員6人・鹿屋市2人・社協3人

④ きほくやすらぎ食堂、きほくやすらぎ市場の営業

区 分	きほくやすらぎ食堂	きほくやすらぎ市場
内 容	食事(昼食)の提供	地元農産物等の販売
営 業 日 数	46日(毎週:1回)	116日(毎週:3回)
利 用 者 数	1,394人	1,568人
売 上 金	732,850円	924,185円
委 託 先	あじさい(輝北地域住民有志のグループ)	NPO法人 輝北キラキラ館

⑤ その他

ア 高齢者サロンや福祉関係団体等への施設利用促進(随時)

イ 輝北ふれあいセンター多目的広場の利用促進(高齢者クラブ・GG協会)等

4 肝属地区障がい者基幹相談支援センター事業の実施

障がい者等、障がい児の保護者又は障がい者等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うと共に、地域における相談支援機能の強化や、地域の関係機関の連携強化、社会資源の開発・改善等を推進することにより、障がい者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう各事業に取り組んだ。

(1) 障害者相談支援事業

① 総合的・専門的な相談支援

ア 地区別相談実績

	鹿屋	垂水	肝付	東串良	錦江	南大隅	計
相談支援実人数	401	33	30	17	11	6	498
相談支援延人員	3,630	420	259	192	56	35	4,592

イ 年度別相談実績

区分	分類	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
		件数	前年比	件数	前年比	件数	前年比
相談実人数 【障害別】	身体障害	43	△ 28	84	41	66	△18
	重症心身障害	5	△ 5	7	2	3	△4
	知的障害	67	△ 20	109	42	70	△39
	精神障害	141	△ 28	231	90	187	△44
	発達障害	9	△ 19	42	33	11	△31
	高次脳機能障害	2	1	2	0	1	△1
	その他	231	33	93	△ 138	160	67
	合計	498	△ 66	568	70	498	△70
相談延件数 【方法別】	訪問	1,059	△ 8	1,115	56	598	△517
	来所	336	56	270	△ 66	289	19
	同行	324	100	416	92	267	△149
	電話	2,246	622	1,367	△ 879	1,505	138
	メール	145	△ 186	115	△ 30	156	41
	個別支援会議	108	2	111	3	115	4
	関係機関	1,096	△ 887	1,486	390	1,642	156
	その他	43	4	30	△ 13	25	△ 5
	合計	5,357	△ 297	4,910	△ 447	4,597	△ 313
相談延件数 【内容別】	福祉サービス利用等	2,178	268	2,126	△ 52	1,548	△578
	障害者症状の理解	17	△ 24	25	8	101	76
	健康・医療に関する	620	△ 498	750	130	637	△113
	不安の解消・情緒安定	910	171	620	△ 290	929	309
	保育・教育	173	△ 177	160	△ 13	77	△ 83
	家族関係・人間関係	348	△ 75	280	△ 68	88	△ 192
	家計・経済	794	△ 136	737	△ 57	563	△ 174
	生活技術	1,286	△ 232	1,159	△ 127	831	△ 328
	就労	124	△ 64	95	△ 29	106	11
	社会参加・余暇支援	54	△ 11	43	△ 11	37	△ 6
	権利擁護	56	△ 21	37	△ 19	32	△ 5
	その他	1,003	316	607	△ 396	834	227
	合計	7,563	△ 483	6,639	△ 924	5,783	△ 856

② 権利擁護・虐待の防止の取組

ア 相談件数

- ・成年後見制度利用支援事業の利用に関する支援・相談件数 8件
- ・虐待防止に関する相談支援・相談対応件数 23件
- ・差別解消に関する相談支援・相談対応件数 1件

イ 虐待通報件数 5件

ウ 権利擁護（虐待防止）研修会の実施

日 時	令和5年10月20日(金) 10:00～12:00
場 所	リナシティ3階 ホール
内 容	テーマ「児童虐待の現状と地域にできる支援」 講師：鹿屋乳児院施設長 軀川 恒 氏
対 象	福祉サービス事業所（参加者128人）

エ 関係会議等への参加

- ・鹿屋市権利擁護実務者会議（3回）
- ・権利擁護関係研修会等参加

(2) 相談支援事業

① 地域の相談支援体制の強化の取組

ア 地域の相談支援事業者に対する支援、人材育成の取組

相談支援事業所訪問 管内22事業所

イ 令和5年度個別支援会議等実施状況

内 容	鹿屋市	垂水市	肝付町	東串良	錦江町	南大隅	合計
個別支援会議	48	10	8	3	4	1	74
サービス利用会議	34	4	3	2	2	1	46

ウ 研修の開催

◇相談支援員研修

開 催 日	令和6年3月18日(月)
研 修 内 容	報酬改定から見える、今後求められる相談支援の姿
参 加 者	管内相談員

エ 地域の相談機関等との連携強化の取組

◇関係機関との連携協議

- ・6月9日 鹿児島県社会保険労務士会鹿屋市支部協議（障害年金関係）
- ・10月4日 居宅支援者意見交換会

◇関係機関等会議出席

大隅障害者地域連絡協議会等出席 計25回

オ 学校や企業等との情報交換、相談、助言等

◇学校等訪問

- ・6月19日 田代こども園訪問助言
- ・11月10日 鹿屋特別支援学校訪問（学習発表会）

◇関係事業所研修講師等

- ・ 6月20日 地域包括支援連絡会研修（障害福祉サービス関係）
- ・ 8月15日 鹿屋社協ソーシャルワーク研修（障害福祉関係）
- ・ 9月12日 相談支援従事者研修受講者研修（基幹・協議会について）
- ・ 3月 1日 鹿屋特別支援学校職場体験受入れ

② 地域移行・地域定着の促進の取組

- ア 当事者会（心のはね会）の開催 18回 延参加者77人
当事者による共感、居場所づくり 情報共有
- イ ピアサポーター活用事業
肝付町民生委員連絡会講師 2回
- ウ 精神保健連絡会出席 計4回

③ 住宅入居等支援事業（居住サポート事業）

賃貸契約による住宅への入居を希望しているが、保証人がいない等の理由により入居が困難な障害者対し入居に必要な調整等に係る支援を行うとともに、家主等への相談・助言を通じて障害者等の地域生活を支援した。

- ・ 年間相談支援件数 211件
- ・ 入居等支援事業実施状況

内 容	鹿 屋	垂 水	肝 付	東串良	錦 江	南大隅	計
事業実利用者	5人	0人	1人	0人	0人	0人	6人
施設・精神科からの入居件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
自宅からの入居件数	4件	0件	0件	0件	0件	0件	4件

(3) 地域生活支援拠点等の機能充実に向けた取組

① 相談機能

- ア ワンストップの相談窓口の実施
- イ 携帯電話による24時間の緊急相談体制実施
- ウ 令和5年度時間帯別相談支援件数

区 分	早 朝	午 前	午 後	夜 間	深 夜	合 計
件 数	24	1,997	2,532	29	10	4,592

※早朝（4時～8時）午前（8時～12時）午後（12時～18時）

夜間（18時～22時）深夜（22時～4時）

② その他の機能再構築のための取組

- ア 先進地視察研修 4地区
- イ 研修会の開催
 - ・ 開催日 令和5年11月20日(月)
 - ・ 内 容 「地域生活支援拠点について」 講師：ゆうかり管理者 塩満 創 氏
 - ・ 対象者 相談支援事業所 短期入所事業所 2市4町行政
- ウ 肝属地区障害者自立支援協議会 地域生活支援拠点部会の設置
 - ・ 第1回部会の開催 令和6年3月8日(金)

(4) その他

- ① 医療的ケア児の支援体制の整備
 - ア 医療的ケア児コーディネーターの配置（2名）
 - ・令和5年度 支援ケース数 5件
 - イ 肝属地区障害者自立支援協議会 医療的ケア児部会の設置
 - ・第1回部会の開催 令和6年2月27日(火)
 - ウ 医療的ケア児等コーディネーター連絡会議の開催
 - ・11月17日(金) 参加者13人
 - エ 関係機関連携会議
 - ・9月8日(金) オレンジ学園（医ケア児・地域生活支援拠点関係）
 - ・3月7日(木) 肝付町教育委員会医ケア児部会
- ② 肝属地区障がい者自立支援協議会の企画・運営
- ③ 2市4町 第3期障害者計画・第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画策定
2市4町の計画策定委員会等に委員として参画（12回）
- ④ その他の啓発活動等
 - ア 基幹センターだよりの発行 年4回（約550部×4回）
配布先：関係機関、福祉サービス事業所、小中学校、幼稚園、保育所等

5 権利擁護推進センターの円滑な運営と高齢者等の権利擁護の推進

高齢者や障がい者等の意思能力や生活状況に応じ、成年後見制度や福祉サービス利用支援事業を活用して、権利擁護支援の推進を図った。

(1) 成年後見業務の実施

家庭裁判所からの選任により、判断能力が不十分な認知症高齢者や精神障がい者等の法律面や生活面を支援する法人後見業務を行った。

① 年間実績

前年度末受任人数	10人
新規受任人数	0人
後見終了人数	2人（後見2人）
受任人数（3月末現在）	8人（後見6人，保佐2人）
延受任人数	25人
年間支援件数	174件（財産管理，死後事務等）
相談件数	12件（制度説明，後見事務等）

② 鹿屋市権利擁護実務者会議への参加

<第1回>

日 時	令和5年4月21日（金）13:30～14:30
場 所	鹿屋市役所 別館会議室
参加者	1人

<第2回>

日 時	令和5年8月22日（火）13:30～14:30
場 所	鹿屋市役所 4階 401 会議室
参加者	2人

<第3回>

日 時	令和5年12月18日（月）13:30～14:30
場 所	鹿屋市役所 4階 401会議室
参 加 者	2人

③ 成年後見制度市町村申立て研修（大隅地域振興局主催）への参加

日 時	令和6年2月20日（火）13:30～16:00
場 所	鹿屋市社会福祉会館 大会議室
参 加 者	3人

④ 権利擁護支援体制全国ネット全国セミナーへの参加

日 時	令和6年2月26日（月）13:00～17:15
場 所	鹿屋市社会福祉会館 大会議室（オンライン形式）
参 加 者	2人

(2) 福祉サービス利用支援事業の実施

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理に関して、自分ひとりでは判断が困難な方に対して、「福祉サービスの利用援助」「日常的な金銭管理サービス」「書類等の預かりサービス」を提供し、住み慣れた地域で安心した生活が送れるように支援を行った。

① 年間実績

前年度末利用人数	65人
新規契約人数	10人
解約・終了人数	11人
現在の実利用人数	64人（令和6年3月31日現在）
年間支援人数	72人
年間支援回数	876回
相談件数	93件

② 第1回福祉サービス利用支援事業専門員会議

- ・日 時 令和5年8月1日（火）13:15～16:00
- ・場 所 鹿児島県社会福祉協議会 別館
- ・参加者 2人

③ 福祉サービス利用支援事業利用支援員研修会

- ・日 時 令和5年11月28日（火）13:10～15:30
- ・場 所 リナシティかのや 情報研修室
- ・参加者 6人

④ 第2回福祉サービス利用支援事業専門員会議及び専門員セミナー

- ・日 時 令和6年2月28日（水）11:00～15:20
- ・場 所 鹿児島県社会福祉協議会 別館
- ・参加者 2人

6 介護保険事業の実施

(1) 居宅介護支援事業【輝北居宅介護支援事業所】

高齢者等が居宅において、適切な保健医療及び福祉サービスを多様な事業所から総合的かつ効率的に提供され、自立した質の高い日常生活が送れるように、介護相談及び介護計画書（ケアプラン）の作成等の支援を行った。また、介護保険事業見直し方針に基づき、令和5年度から鹿屋居宅介護支援事業所を輝北居宅介護支援事業所に統合し、職員体制の見直しや事務所の集約を行い、新たな体制で業務を推進した。

- ① 事業所職員数 5人（対前年度比2人の減）
- ② 利用者実人数 118人（対前年度比77人の減）

区 分	実人数
予 防 給 付	32人
介 護 給 付	86人
合 計	118人

- ③ 介護度別ケアプラン作成件数 1,162件（対前年度比422件の減）

区 分		件数
要 支 援	1	114件
	2	170件
小 計		284件
要 介 護	1	186件
	2	218件
	3	98件
	4	207件
	5	115件
小 計		824件
介護予防・日常生活支援 総合事業対象者		54件
合 計		1,162件

- ④ 住宅改修理由書作成件数 14件（対前年度比1件の減）

(2) 訪問介護事業【本所分室】

訪問介護員が利用者の居宅においてその有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄及び食事等の身体介護、調理・洗濯及び掃除等の家事援助、日常生活に関する相談及び助言その他の生活全般にわたる援助及び支援を行った。また、介護保険事業見直し方針に基づき、輝北地域以外の利用者の他事業所への移管作業等を行った。

- ① 訪問介護事業所職員数 13人（対前年度比1人の減）
- ② 訪問介護利用者実人数 24人（対前年度比50人の減）
- ③ 訪問介護利用回数 1,089回（対前年度比1,563回の減）

④ 介護度別利用者数及び利用回数

区 分		年 間			月平均	
		実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
要 支 援	1	3 人	28 人	100 回	2.3 人	8.3 回
	2	5 人	25 人	140 回	2.1 人	11.7 回
小 計		8 人	53 人	240 回	4.4 人	20 回
要 介 護	1	4 人	41 人	159 回	3.4 人	13.2 回
	2	6 人	55 人	387 回	4.6 人	32.3 回
	3	3 人	11 人	61 回	0.9 人	5.1 回
	4	0 人	0 人	0 回	0.0 人	0.0 回
	5	0 人	0 人	0 回	0.0 人	0.0 回
小 計		13 人	107 人	607 回	8.9 人	50.6 回
介護予防・日常生活支援 総合事業対象者		4 人	48 人	242 回	4.0 人	20.2 回
合 計		25 人	208 人	1,089 回	17.3 人	90.8 回

⑤ サービス内容別利用回数

区 分	年間利用回数	月平均
身体介護中心	33 回	2.8 回
身体介護・生活援助	192 回	16.0 回
生活援助中心	864 回	72.0 回
合 計	1,089 回	90.8 回

(3) 訪問入浴介護事業【本所分室】

訪問入浴車で居宅を訪問し、看護職員及び介護職員が要介護者等の心身の特性を踏まえながら、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう入浴の介助を行った。

- ① 訪問入浴介護事業所職員数 18 人 (対前年度比 増減なし)
- ② 訪問入浴車保有台数 3 台 (対前年度比 増減なし)
- ③ 訪問入浴介護利用者実人数 64 人 (対前年度比 8 名の減)
- ④ 年間訪問入浴介護利用回数 1,322 回 (対前年度比 19 回の減)
- ⑤ 介護度別利用者数及び利用回数

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
要介護1	0 人	0 人	0 回	0.0 人	0.0 回
要介護2	4 人	25 人	100 回	2.1 人	8.3 回
要介護3	6 人	8 人	17 回	0.6 人	1.4 回
要介護4	23 人	85 人	393 回	7.1 人	32.8 回
要介護5	31 人	156 人	812 回	13.0 人	67.7 回
合 計	64 人	274 人	1,322 回	22.8 人	110.2 回

7 障害者福祉サービス事業の実施

利用者が居宅において安心して日常生活を営むことができるよう、訪問介護員等が入浴・排泄及び食事等の身体介護，調理，洗濯及び掃除等の家事援助，生活等に関する相談及び助言並びに外出時における同行援護及び移動支援，その他の生活全般にわたる支援を行った。

(1) 障害者居宅介護事業

- ① 居宅介護事業所職員数 13人（対前年度比 1人の減）
- ② 居宅介護利用者実人数 33人（対前年度比 1人の増）
[内訳：身体12人，知的5人，精神16人]
- ③ 居宅介護利用回数 2,956回（対前年度比 512回の減）
- ④ サービス内容別利用者数及び利用回数

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
身体介護中心	5人	50人	579回	4.2人	48.2回
家事援助中心	27人	240人	2,373回	20.0人	197.8回
通院等介助	1人	4人	4回	0.3人	0.3回
合 計	33人	294人	2,956回	24.5人	246.3回

(2) 同行援護事業（視覚障がい者に対する外出支援等）

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
同行援護	7人 (1人の減)	80人 (4人の減)	594回 (4回の減)	6.7人 (0.4人の増)	49.5回 (0.3回の減)

(3) 障害者移動支援事業

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
移動支援	3人 (1人の増)	8人 (3人の増)	12回 (7回の増)	0.7人 (0.3人増)	1.0回 (0.6回増)

(4) 障害者訪問入浴サービス事業

- ① 訪問入浴サービス従事者数 18人（対前年度比 増減なし）
- ② 訪問入浴車保有台数 3台（対前年度比 増減なし）

区 分	年 間			月平均	
	実人数	延人数	利用回数	利用人数	利用回数
訪問入浴	7人 (1人の減)	83人 (2人の増)	596回 (12回の減)	6.9人 (0.2人減)	49.7回 (1回の減)

地域福祉課所管

1 地域力強化推進事業（地域福祉事業）

すべての人々が共に助け合い、生きがいをもって暮らし、地域を作っていく「地域共生社会」の実現を目指して、地域福祉コーディネーターを2名配置し、以下の活動に取り組んだ。

(1) 住民が主体的に地域課題を把握して解決を試みる環境整備

① 「地域福祉協議会」の設立

町内会等の区域において、住民が主体的に地域課題を把握し、解決するための協議の場として「地域福祉協議会」の設立を支援し、地域課題を話し合う定例会等の開催を支援した。

【令和5年度に設立した地域福祉協議会】9ヶ所

No.	設立日	協議会名	備考
1	5月9日	川東町地域福祉協議会	既存の住民福祉活動(見守り活動や有償ボランティア)を基盤に発足
2	5月13日	池園町地域福祉協議会	ドライブサロンプラスの実施に向け発足
3	6月24日	西祓川町地域福祉協議会	町内の様々な立場の方で構成
4	7月8日	平南地域福祉協議会	近隣福祉ネットワーク(見守り活動)を基盤に発足
5	9月28日	高隈地域福祉協議会	高隈地区コミュニティ協議会生活安心部会を基盤に発足
6	10月15日	富ヶ尾中央地域福祉協議会	見守り活動を視野に入れ発足
7	12月8日	鶴峰中地区町内会地域福祉協議会	見守り活動を基盤に発足
8	1月21日	古江地域福祉協議会	NPO法人「古江わくわくまちおこし」と連携し発足
9	3月24日	東原地域福祉協議会	町内の様々な立場の方で構成

【既存の地域福祉協議会】

No.	年度	設立日	協議会名	No.	年度	設立日	協議会名
1	R1	4月1日	高牧町地域福祉協議会	8	R2	4月16日	中央東町内会地域福祉協議会
2		4月1日	鶴羽地域福祉協議会	9		5月8日	西原2丁目東地域福祉協議会
3		6月1日	古前城町地域福祉協議会	10		5月11日	中央麓町内会地域福祉協議会
4		7月1日	海道町地域福祉協議会	11	R3	3月17日	上野町地域福祉協議会
5		7月1日	花里町地域福祉協議会	12		3月18日	細山田東西地域福祉協議会
6		8月1日	小薄町地域福祉協議会	13	R4	6月29日	中央町町内会地域福祉協議会
7		10月18日	寿8丁目地域福祉協議会	14		11月27日	大塚原地域福祉協議会
			15	1月27日		高須町内会地域福祉推進協議会	

【域福祉課題を話し合う定例会等の支援】82回

(2) 住民アンケート調査等及び支え合いマップによる地域ニーズの把握

住民アンケート調査及び各種アンケート調査、並びに支え合いマップづくりを通して、地域ニーズの把握に努めた。

① 住民アンケート調査の実施

1	花里町	目的	地域ニーズを把握し、花里町地域福祉協議会において協議検討を行う。
		調査対象	花里町内会 44 世帯
		調査時期	令和 5 年 6 月 28 日～7 月 7 日
		回収状況	27 世帯 (61.4%)
2	大塚原 (串良町)	目的	地域ニーズを把握し、大塚原地域福祉協議会において協議検討を行う。
		調査対象	大塚原 4 町内会 99 世帯
		調査時期	令和 5 年 7 月 28 日～8 月 18 日
		回収状況	65 世帯 (65.7%)
3	西祓川町	目的	地域ニーズを把握し、西祓川町地域福祉協議会において協議検討を行う。
		調査対象	西祓川町内会 230 世帯
		調査時期	令和 6 年 1 月 12 日～2 月 2 日
		回収状況	162 世帯 (70.4%)
4	平南 (輝北町)	目的	地域ニーズを把握し、平南地域福祉協議会において協議検討を行う。
		調査対象	平南町内会 200 世帯
		調査時期	令和 6 年 1 月 26 日～2 月 16 日
		回収状況	141 世帯 (70.5%)
5	鶴峰中 (吾平町)	目的	地域ニーズを把握し、鶴峰中地区町内会地域福祉協議会において協議検討を行う。
		調査対象	鶴峰中町内会 134 世帯
		調査時期	令和 6 年 2 月 22 日～3 月 8 日
		回収状況	100 世帯 (74.6%)

② 有償ボランティア立ち上げに向けたアンケート調査の実施

1	上野町	目的	上野町地域福祉協議会での有償ボランティア立ち上げに向けて、日常的な困りごとを把握する。
		調査対象	上野町内会 490 世帯
		調査時期	令和 5 年 7 月 13 日～7 月 28 日
		回収状況	155 世帯 (31.6%)

③ 支えあいマップ作成の支援

No.	地域	日時	場所	参加者数
1	札元 2 丁目	令和 5 年 6 月 20 日(火) 10:00～11:30	札元 2 丁目公民館	9 人

(3) 住民参加型福祉サービス支援事業の実施

地域に暮らす高齢者や地域支援に意欲のある地域住民に、住民参加型福祉サービス（有償ボランティア）への参加を促し組織化・活性化することで、高齢者等の生活支援や介護予防の推進を図るとともに、持続的な生活支援の担い手養成を図った。

① 視察研修の実施

日 時	令和5年11月22日(水) 8:00~18:00
場 所	さつま町(永野交流館・ひまわり館)
内 容	上野町での有償ボランティア設立に向け、既に活動を実施している2団体(永野・サンスマイルクラブお助け隊、西町ささえあい隊)との意見交換を通し、研修を行った。
参加人数	16人(上野町住民13人、関係機関3人)

② 発足式の実施

団 体 名	上野おたすけ隊
日 時	令和6年3月24日(日) 10:00~11:00
場 所	上野町公民館
内 容	有償ボランティアの概要や活動の流れの説明を行った。
参加人数	42人(上野町住民32人、関係機関10人)

(4) 地域住民等に対する研修の実施

地域福祉協議会の関係者など、地域住民に対して研修を実施し、地域共生社会の実現に向けた取り組みに関する情報の共有化に努めた。

① あんしん安全ネットワークセミナー

日 時	令和5年9月8日(金) 13:30~16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・簡単な体操講座 ・パネルディスカッション(薩摩川内市、肝付町、龍郷町の取り組み)
参加人数	30人(民生委員・児童委員22人、関係機関8人)

② 令和5年度ふれあいネットワーク研修会

日 時	令和5年10月17日(火) 13:30~16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・行政説明「市内の一人暮らし高齢者の状況について」 ・研 修「県内の見守り活動の状況について」 ・意見交換「困りごと等について」
参加人数	43人(関係機関10人、見守り活動団体22団体33人)

③ 令和5年度地域福祉協議会研修会

日 時	令和5年11月6日(月) 13:30~16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・講 演「日置市が取り組む地域福祉活動について」 ・事例発表「住民同士で地域の福祉課題に気づき、考える支え合いマップづくり」 ・グループワーク「支え合いマップの体験」
参加人数	29人(関係機関8人、地域福祉協議会14団体21人)

(5) 地域づくりを推進する関係機関等との連携

地域づくりを推進する関係機関等と定期的に協議を行うことで、それぞれの取組状況を把握し、地域福祉協議会の設立や生活支援等に向けて連携を図った。

① 鹿屋市地域公共交通活性化協議会

日 時	令和5年6月29日(木) 14:00～15:30
場 所	市役所7階 大会議室
内 容	ドライブサロンプラスの概要説明

② 大隅地域中山間地域等集落活性化推進地域会議（買物弱者支援地域推進班会議）

日 時	令和5年11月21日(火) 13:30～16:00
場 所	大隅地域振興局別館2階 大会議室
内 容	ドライブサロン事業の概要説明

③ 市高齢福祉課との協議(計8回)

日 時	令和5年4月24日(月) 10:00～11:45
	令和5年5月29日(月) 13:30～15:00
	令和5年7月31日(月) 13:30～14:30
	令和5年10月30日(月) 13:30～15:00
	令和5年11月20日(月) 10:00～11:30
	令和5年12月18日(月) 10:00～11:30
	令和6年2月26日(月) 13:00～14:00
	令和6年3月18日(月) 10:00～11:00
場 所	鹿屋市地域包括センター
内 容	生活支援コーディネーターとの活動共有

(6) ふれあいネットワークづくり事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域の中で取り組まれている見守り活動について、継続的に活動されるよう支援を行った。

① 高齢者等の見守り隊に対する支援を実施

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
見守り隊	総数	25ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	4ヶ所	37ヶ所
	既存の見守り隊の例会を通じた支援回数	42回	0回	3回	1回	46回

(7) ふれあい・いきいきサロン事業

住み慣れた地域ごとに気軽に集える場所を作り、生きがいづくりや仲間づくりの支援を行った。

① ふれあい・いきいきサロンの立ち上げ支援、既存サロンへの支援

区 分		鹿屋	串良	吾平	輝北	計
高齢者サロン	新規立上げ	11ヶ所	3ヶ所	0ヶ所	0ヶ所	14ヶ所
	廃止	4ヶ所	2ヶ所	0ヶ所	1ヶ所	7ヶ所
	総数	98ヶ所	17ヶ所	26ヶ所	16ヶ所	157ヶ所
子育てサロン	総数	1ヶ所	0ヶ所	1ヶ所	1ヶ所	3ヶ所
高齢者サロンへの参加支援回数		32回	7回	14回	2回	55回
子育てサロンへの参加支援回数		2回	0回	休止中	2回	4回

② 助成金を通じた支援（高齢者サロン等加入促進事業）

サロングループ等で新規加入した人数に応じて助成金を交付し、活動の促進を図った。

交付対象サロン数	149グループ（対前年度比：33グループの増）
助成金額合計	2,180,000円（対前年度比：650,000円の増）

③ サロン展の開催

日 時	令和6年1月20日(土) 9:00～15:00
場 所	中央公民館ロビー
展 示	7サロン

④ レクリエーション用具の貸出

サロン等へレクリエーション用具の貸し出しを行った。

・貸出件数 121件、238台

用具名	貸出件数	貸出台数
スカットボール	36件	44台
ストライクボード	14件	140台
輪投げ	45件	54台
シャッフルゴルフ	2件	2台
スマイル射的	10件	10台
たいこ相撲	9件	9台
ポッチャ	26件	30台
その他	60件	75台
合 計	202件	238台



(8) ドライブサロン事業の実施

市内の社会福祉法人6法人の経営する8つの福祉施設が、自ら交通手段を有しない高齢者等に対し、週1回法人のマイクロバス等を運行して、生鮮食料品等の買い物支援を行う「生活支援型」と、月2回程度法人のマイクロバス等を運行して、市内外の名所・観光地への遠足と買い物を組み合わせた「生きがづくり型」の2種類のドライブサロン事業を実施した。

また、地域福祉協議会に対して車両（社協所有車）を無償で貸与し、住民主体の買い物支援を推進する「ドライブサロンプラス」を実施した。

① 生活支援型ドライブサロン

実施回数	236回（対前年度比：126回の増）
登録者数	73人（対前年度比：18人の減）
年間利用者数（延）	1,378人（対前年度比：670人の増）

（各地区の内訳表）



地区名	花岡地区	大始良地区
町内会	有武・小薄・高牧	大始良東
協力法人	社会福祉法人 愛光会 桜町学園・和光学園	社会福祉法人 永生会 慈恵園
開始日	平成27年4月2日	平成28年8月29日
実施日	毎週木曜日 13:00～	毎週火曜日 10:00～
買い物先	ニシムタ鹿屋店, スーパーかくち	A コープ大始良店
実施回数	47回	42回
登録者数	21人	9人
年間利用者数	平均7人, 延べ306人	平均3人, 延べ120人

地区名	串良地区	花里地区
町内会	富ヶ尾中央	花里・白水・一里山・海道
協力法人	社会福祉法人 以和貴会 以和貴苑	社会福祉法人 鹿屋恵友会 花岡の里
開始日	平成29年3月7日	平成29年8月4日
実施日	毎週火曜日 10:30～	毎週木曜 9:45～
買い物先	タイヨー串良店	ニシムタ鹿屋店 スーパーかくち
実施回数	50回	46回
登録者数	10人	17人
年間利用者数	平均5人, 延べ258人	平均5人, 延べ228人

地区名	飯隈・南地区
町内会	飯隈・南
協力法人	社会福祉法人 愛光会 総合サポートセンターラン
開始日	平成29年11月15日
実施日	毎週木曜日 13:00～
買い物先	A コープ大始良店
実施回数	51回
登録者数	16人
年間利用者数	平均9人, 延べ466人

② 生きがづくり型ドライブサロン

実施回数	12回 (対前年度比：10回の増)
年間利用者数(延)	120人 (対前年度比：93人の増)

(各地区の内訳表)

地区名	吾平地区	串良地区
法人名	社会福祉法人岳風会 陵北荘	社会福祉法人友心会 ゆらり
開始日	平成30年10月9日	令和元年10月9日
実施日	月2回	月2回
行先	市内外の名所, スーパー	市内外の名所, スーパー
対象者	吾平町内のサロン参加者	串良町内のサロン参加者
利用者数	66人	54人
実施回数	6回	6回

③ ドライブサロンプラス

【出発式】

日時	令和5年8月3日(木) 9:00~9:30
場所	高須町民会館
参加人数	67人 (住民35人, 関係機関32人)

【運転ボランティア養成講座】

1	日時	令和5年7月26日(水) 10:30~12:20
	場所	鹿屋自動車学校
	参加人数	運転ボランティア 高須町5人
2	日時	令和5年7月28日(金) 10:30~12:20
	場所	鹿屋自動車学校
	参加人数	運転ボランティア 池園町3人, 川東町1人

【実施状況】

実施回数	92回
登録者数	48人
年間利用者数(延)	437人

(各地区の内訳表)

地区名	高須	池園	川東
協議会名	高須町内会 地域福祉推進協議会	池園町地域福祉協議会	川東町地域福祉協議会
開始日	令和5年8月3日	令和5年8月17日	令和5年9月1日
実施日	毎週水曜日 9:00~12:00	毎週火曜日 9:00~12:00	毎週金曜日 9:00~12:00
行先	市内のスーパー	市内のスーパー	市内のスーパー
運転ボランティア	5人	4人	2人
登録者数	30人	12人	6人
実施回数	32回	32回	28回
年間利用者数	平均5人, 延べ172人	平均5人, 延べ167人	平均4人, 延べ98人

④ 令和5年度ドライブサロン事業連絡会の開催

日 時	令和6年3月7日(木) 14:00~16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・令和5年度ドライブサロンの実施状況について ・ドライブサロン事業担当者間の意見交換会
参加者	6法人 8施設 (9人)

(9) 視察受入・研修講師等状況

1	日 時	令和5年9月1日(金) 10:00~11:40
	相手方	熊本県八代市校区福祉推進協議会 20人
	内 容	有償ボランティア及びドライブサロン(プラス含む)等
2	日 時	令和5年10月14日(土) 10:00~11:00
	相手方	志布志市有明町山重校区社会福祉協議会 5人
	内 容	有償ボランティア等
3	日 時	令和5年10月28日(土) 10:00~11:30
	相手方	南九州市社会福祉協議会他 35人
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)等
4	日 時	令和5年11月8日(水) 10:00~11:30
	相手方	宮崎県都城市五十市地区社会福祉協議会 14人
	内 容	地域福祉協議会及び有償ボランティア, 買い物支援等
5	日 時	令和5年11月9日(木) 15:00~16:00
	相手方	福岡県行橋市役所, 行橋市社会福祉協議会 5人
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)等
6	日 時	令和5年11月15日(水) 10:30~11:30
	相手方	県内各市町村担当者 31人(鹿児島トヨタ自動車主催)
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)等
7	日 時	令和5年11月29日(水) 13:00~14:30
	相手方	坊津自治公民館連絡協議会 15人
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)等
8	日 時	令和6年1月10日(水) 9:00~12:00
	相手方	市町村社会福祉協議会連絡協議会小委員会 6人
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)等
9	日 時	令和6年1月23日(火) 10:00~12:00
	相手方	熊本県高森町役場, 高森町社会福祉協議会 13人
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)等
10	日 時	令和6年3月9日(土) 10:00~15:00
	相手方	霧島市清水地区住民 14人
	内 容	有償ボランティア等
11	日 時	令和6年3月22日(金) 14:00~15:40
	相手方	宮崎県都城市祝吉地区社会福祉協議会 17人
	内 容	ドライブサロン(プラス含む)及び社会資源の活用等

(10) 子ども食堂への支援

地域の子ども達に、無料または低額な料金で栄養のある食事を提供するとともに、地域の様々な方々が参加することにより、多世代交流の場にもなっている子ども食堂の活動を支援した。

① 第1回鹿屋市子ども食堂ネットワーク連絡会

日 時	令和5年8月4日(金) 14:00~15:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・研 修「要保護児童等について」 ・意見交換会「鹿屋市子ども食堂MAPについて」
参加人数	13人(子ども食堂6食堂10人, 他関係機関3人)

② 第2回鹿屋市子ども食堂ネットワーク連絡会

日 時	令和6年2月9日(金) 14:00~16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
内 容	・研 修「鹿屋市子ども食堂物価高騰対策事業について」 ・協力企業・団体との意見交換会(食堂紹介, 企業・団体紹介)
参加人数	25人(子ども食堂5食堂10人, 8企業等11人, 他関係機関4人)

2 多機関協働包括的支援体制構築事業

(1) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

1つの機関では対応できない複雑・複合的な課題がある世帯に対し、高齢・障がい・児童等の各分野が包括的な支援を推進した。また、支援過程で課題となるものについて協議し解決を図った。

① 複合的課題を抱える世帯への支援

ア 相談件数60件(国の分類による世帯内訳)

世帯類型	件数
単身世帯(64歳以下)	14
単身世帯(65歳以上)	2
夫婦のみ世帯(夫婦ともに65歳以上)	2
夫婦と未婚の子	9
配偶者のいない65歳以上の者と20歳以上の未婚の子のみ世帯	5
ひとり親世帯(現に配偶者のいない65歳未満の者と20歳未満の子のみ)	13
3世代世帯(世帯主を中心とした直系3世代以上)	9
その他世帯	6
合 計	60

○結果 終結57件 継続3件

イ 相談内容（国の分類）※世帯に複数の相談内容があるため相談件数と合計は一致しない

相談類型	件数
病気・けが・身体障がい	15
知的・精神障がい	35
社会的孤立（ニート・ひきこもり含む）	21
その他メンタルヘルス	8
経済的困窮	48
多重・過重債務	18
家計管理の問題	13
ごみ屋敷状態	7
家族関係・家族の問題	21
介護	2
子育て	7
不登校	9
ひとり親	13
DV・虐待	5
外国籍	1
親の年金頼みで子が無職	5
住まい不安定	6
自殺企図	3
合 計	237

(2) 相談支援機関との連携

世帯への包括的支援や重層的支援会議等を通じて、高齢・障害・児童・困窮分野の支援機関と連携を図り、実務的なネットワークの構築に努めた。また、下記の関係機関で構成される会への参加等を通じて連携を図った。

- ・相談支援ネットワーク機関（11 機関）
 - ①鹿屋市民生委員児童委員協議会 ②鹿屋市地域包括支援センター ③大隅児童相談所
 - ④肝属地区障がい者基幹相談支援センター ⑤市子育て支援課 ⑥市学校教育課
 - ⑦市健康増進課 ⑧生活困窮者自立相談支援機関 ⑨市福祉政策課 ⑩法テラス鹿屋
 - ⑪児童家庭支援センターつながり
- ・多様な関係機関で構成される会を通じての連携促進
 - ①青少年問題協議会実務者会（市生涯学習課，年6回）
 - ②鹿屋市要保護児童対策地域協議会実務者会（市子育て支援課，年4回）
 - ③肝属・曾於地区自殺対策ネットワーク会議（大隅地域振興局，年1回）
 - ④権利擁護実務者会（市高齢福祉課，年3回）
 - ⑤認知症疾患医療連携会議

(3) 研修会等の実施

ア 社会的孤立等

日時・場所	内 容					出席者
令和6年2月15日(木) 14:00～16:00 (リナシティかのや情報研修室)	(1) 講演 「身寄りのない方への支援について」 講師：NPO 法人やどかりサポート鹿児島 理事長 芝田 淳 氏 (2) 事前質問への回答及び意見交換					高齢・障がい分野 の事業所職員 66名
参加者及び団体数	内 訳					
	民生委員	介護保険 関係事業所	障害福祉 関係事業所	行政関係	その他 (関係機関)	
参加者 66人	13人	37人	5人	7人	4人	
アンケート評価			人 数	割 合		
参考にならなかった			0	0		
あまり参考にならなかった			0	0		
参考になった			24人	38%		
とても参考になった			40人	62%		
合 計			64人	100%		

イ 精神疾患等

日時・場所	内 容						出席者
令和6年3月1日(金) 18:00～20:00 (鹿屋市役所 7F 大会議室)	(1) 講演 「子どもの発達特性や精神疾患等に関する基礎知識」 講師：鹿児島中央児童相談所 技術主査 (精神科医) 田畑 健太郎 氏 (2) 事前質問への回答及び意見交換						児童・障がい分野の 事業所職員 72名
参加者及び団体数	内 訳						
	小学校	中学校	児童発達 支援センター	放課後等 デイサービス	行政	その他 (関係機関)	
団 体 33ヶ所	2人	5人	5人	6人	3人	12人	
参加者 72人	2人	8人	19人	10人	6人	27人	
アンケート評価			人 数	割 合			
参考にならなかった			0	0			
あまり参考にならなかった			0	0			
参考になった			12人	18%			
とても参考になった			53人	82%			
合 計			65人	100%			

(4) 重層的支援体制整備事業への移行準備

- ① 重層的支援会議の開催を通じた支援機関の役割分担や支援の方向性等の整理
- ア 重層的支援会議の開催回数 12回
- イ 内容
- ・重層的支援体制整備事業や多機関が協働する目的について
 - ・複合的課題を持つ世帯の課題整理
 - ・支援の方向性と各支援機関の役割等について 等
- ウ 複合的な課題のある世帯の例
- ・認知症疑いのある80代の母親と、無職で精神疾患のある50代の息子
 - ・複合的障害を持つ母親と不登校状態の子
- ② その他、重層的支援体制整備事業への移行に向けた準備
- ・重層的支援体制整備事業の構築協議
 - ・鹿屋市重層的支援体制整備事業実施マニュアルの策定

(5) 総合相談事業（心配ごと相談事業）の実施

一般相談では、市民の様々な相談を受け、福祉サービス等の情報提供や専門機関への橋渡しを行い、専門相談では、専門的な助言や情報提供を行い問題解決への適切な支援に努めた。

- ① 相談件数 507件（前年度比149件増）

相談種別	相談内容	相談日・時間	相談員	開設日数	相談件数 (対前年度比)
一般相談	心配ごと・ 悩みごと	月曜日～金曜日 9:00～12:00	心配ごと 相談員	243日	222件 (93件の増)
法律相談	権利・相続 ・借地等	第2金曜日 13:00～16:00	弁護士	12日	63件 (0件の増)
税務・経営相談	相続税・ 贈与税等	第1金曜日 9:00～12:00	税理士	10日	29件 (10件の増)
財産・登記相談	相続・財産 ・登記等	第2・3・4金曜日 9:00～12:00	司法書士	34日	174件 (41件の増)
終活相談	死後事務・遺 言等	第4木曜日 9:00～12:00	行政書士	11日	19件 (5件の増)
合 計					507件 (149件の増)

- ② 周知広報

掲載月	広報媒体	周知方法
令和5年4月	社協だより第60号	全戸配布
令和5年9月	福祉プラザ通信第178号	全戸回覧
令和5年10月	社協だより第62号	全戸配布
令和6年1月	社協だより第63号	全戸配布
常 時	社協ホームページ	—
常 時	市ホームページ	—

③ 心配ごと相談所相談員会

日 時	内 容	出席者
令和6年1月12日(金) 15:30~17:00	1 研修 (1) 相談対応について (2) 意見交換会 2 心配ごと相談所の運営について (1) 相談所の実績等について (2) 今後の相談所運営について	心配ごと相談員6名

3 生活福祉資金貸付事業

(1) 県生活福祉資金貸付事業

低所得世帯，障がい者世帯，高齢者世帯，失業者世帯等の経済的自立や生活の安定を図るため，生活福祉資金の貸し付けを行った。

① 本則貸付分

ア 令和5年度貸付分実績

- ・相談件数：117件（架電：71件，来所：40件，訪問：6件）
- ・貸付件数：6件（前年度比1件増）
- ・貸付金額：2,036,000円（前年度比△495,000円）

資 金 種 類	件 数	金 額
福祉費（障害者自動車購入経費）	1件	1,205,000円
緊急小口資金	4件	350,000円
教育支援資金（就学支度費）	1件	481,000円
合 計	6件	2,036,000円

イ 償還状況

区 分	元 金	利 子	延滞利子	合 計
前期末貸付残高	30,454,138円	666,067円	14,722,443円	45,842,648円
当年度貸付額	4,924,000円	0円	0円	4,924,000円
当年度償還額	3,194,640円	11,340円	181,909円	3,387,889円
当年度末未償還額	32,183,498円	654,727円	14,540,534円	47,378,759円

※当年度貸付額については，当年度に交付した額であり，実際の貸付金額とは異なる。

② 新型コロナウイルス特例貸付

ア 償還状況

区 分	元 金	延滞利子	合 計
前期末貸付残高	523,316,458円	75,522円	523,391,980円
当年度償還免除額	130,709,230円	0円	130,709,230円
当 年 度 償 還 額	24,780,878円	0円	24,780,878円
当年度末未償還額	367,826,350円	75,522円	367,901,872円

イ 新型コロナウイルス特例貸付償還免除

新型コロナウイルス特例貸付の償還時において，一定の要件を満たした場合，償還を免除することが出来るとされ，その受付が都道府県社協ごとに実施された。

○鹿屋市における償還免除の状況

資金種類	令和5年度
	金額
緊急小口資金	24,117,980円
総合支援資金(初回)	106,591,250円
合計	130,709,230円

ウ 新型コロナウイルス特例貸付償還猶予

新型コロナウイルス特例貸付の償還が開始された借受人で、引き続き償還が困難な状況にある場合に償還期間を原則1年間猶予する償還猶予の相談対応に取り組んだ。

○償還猶予の状況

資金種類	令和5年度	
	件数	金額
緊急小口資金	48件	9,150,000円
総合支援資金(初回)	29件	15,300,000円
総合支援資金(延長)	11件	5,850,000円
合計	88件	30,300,000円

※総合支援資金(延長)については令和6年1月より償還開始となった。

エ 新型コロナウイルス特例貸付猶予後免除

新型コロナウイルス特例貸付償還猶予を受けた借受人で、猶予期間終了後も引き続き償還が困難な状況が想定される場合に当会の判断で償還の免除が出来ることとなった。

- ・猶予後免除申請をした借受人：5名
- ・猶予後免除申請の資金別内訳

資金種類	令和5年度	
	件数	金額
緊急小口資金	6件	1,000,000円
総合支援資金(初回)	3件	1,500,000円
合計	9件	2,500,000円

(2) 地域くらし・ささえあい事業

新型コロナ特例貸付借受人に対するアウトリーチにより、生活課題を把握し、課題解決に向け、関係機関と連携しながら寄り添った支援を行った。

① アウトリーチ活動の取組状況

令和5年7月より新型コロナウイルス特例貸付の返済が滞っている世帯や、必要な情報が届きにくい外国籍借受世帯などを中心に電話や訪問などによるアウトリーチ活動を行った。

- ・アウトリーチ活動を行った借受世帯：333世帯(延件数：534件)

アウトリーチ活動延べ件数内訳	件数
①月内に終結せず次月に継続	194件
②アウトリーチにより一時的な問題が解決したことによる終結	140件
③他機関へ適切な繋ぎを行ったことによる終結	8件
④連絡が取れない、途絶えたことによる終結	149件
⑤介入の希望、必要がないことによる終結	43件
合計	534件

② 「外国籍の方のための生活応援セミナーINかのや」の開催

鹿屋市に居住している外国籍の方々を対象に、生活に必要な支援情報を提供するとともに、新型コロナウイルス感染拡大の影響により国の特例貸付等を受けた方への支払い猶予や免除などの情報提供や手続等の支援・個別の生活相談に応じることを目的に開催した。

日 時	令和5年9月24日（日）10：00～12：45
場 所	リナシティかのや2階情報研修室、福祉プラザ相談室等
内 容	<p>【研修会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿屋市の外国籍人口や多文化共生への取組（市地域活力推進課） ・外国籍相談窓口の紹介，外国籍向け講座・イベント紹介（鹿児島県国際交流協会） ・中長期在留資格者への在留カード・公的手続などの留意事項（鹿児島県行政書士会） ・特例貸付借受人への償還免除・償還猶予の手続きについて（社会福祉協議会） <p>【個別相談会での主な相談内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で生活が苦しい。 ・年金制度や行政手続きについて ・外国からの家族の呼び寄せについて 等
参加人数	<ul style="list-style-type: none"> ・研修会：6か国 22世帯 31名（フィリピン・ミャンマー・ネパール・ベトナム・中国・台湾） ・個別相談会：15名より 22件の相談

(3) 鹿屋市社会福祉協議会生活福祉資金小口貸付事業

① 償還状況（令和6年3月31日現在）

- ・未完済借受人：12名
- ・償還があった借受人：3名（うち1名完済）
- ・償還件数：18件（前年度比2件の増）
- ・償還金額：69,873円（前年度比29,873円の増）

区 分	元 金	利 子	合 計
前期末貸付残額	539,000円	45,910円	584,910円
当年度貸付額	0円	0円	0円
当年度償還額	41,000円	28,873円	69,873円
当年度末未償還額	498,000円	17,037円	515,037円

4 生活困窮者食料支援事業の実施

生活に困窮し食料に困っている世帯に対し、当会備蓄食料品の無償提供による食料支援を行った。

- ・支援世帯数：51世帯（前年度比4世帯の減）
- ・支援件数：63件（前年度比：△1件）

5 かごしまおもいやりネットワーク事業

社会福祉法人の「地域における公益的な取り組み」として、福祉課題や生活課題を抱える住民等を対象に相談支援や経済的支援を実施するとともに、事業の効果的な運営、支援法人の加入促進に取り組んだ。

(1) かがしまおもいやりネットワーク事業を活用した経済的支援

- ・支援世帯数：36 世帯（前年度比：4 世帯の減）
- ・支援件数：36 件（前年度比：5 件の減）
- ・支援金額：1,268,689 円（対前年度比：20,883 円の増）
- ・支援内容：食料費、燃料費、公共料金、家賃、医療費等

(2) かがしまおもいやりネットワーク事業ワーキング部会への参加

事業の効果的な運営，加入促進及び研修会の企画・運営に関する協議を行う部会をワーキング部会として位置づけ，部会員として部会及び研修会に参加した。

開催日		内容
第 1 回	令和 5 年 10 月 23 日（月）	研修会の内容検討
第 2 回	令和 5 年 11 月 24 日（金）	研修会の内容検討
研修会	令和 6 年 2 月 7 日（水）	グループワークへの参加

(3) 令和 5 年度かがしまおもいやりネットワーク事業加入法人連絡会

鹿屋市内のかごしまおもいやりネットワーク事業加入法人及び事業に興味のある未加入法人を対象に「地域における公益的な取組」について考えていくことを目的として開催した。

日 時	令和 5 年 11 月 21 日（火）
場 所	リナシティかのや 2 階 研修室 ※集合形式
内 容	・事業の概要及び県内における実施状況について ・事業の市内における実施状況について ・参加法人による意見交換
参 加 者	・加入法人 6 法人 7 名 ・未加入法人 2 法人 4 名

6 ファミリー・サポート・センター事業

地域において育児又は家事の援助を受けたい人（利用会員）と育児等の援助を行いたい人（サポート会員）を募集・登録し，相互援助活動の調整業務を行い，子育て支援に努めた。

(1) 会員登録者数

- ・総会員数 652 人（対前年度比：4 名の減）

区 分	会員数（内 新規登録者数）
利 用 会 員	322 人（42 人）
サポ-ト会員	287 人（14 人）
両 方 会 員	43 人（0 人）
合 計	652 人（56 人）



(2) 会員募集講習会の開催と出席者数

開催日	利用会員	サポート会員	両方会員	合計
令和5年6月21日(水)	3人	3人	1人	7人
令和5年10月19日(木)	3人	4人	0人	7人
令和6年2月25日(日)	0人	7人	1人	8人
随時	47人	0人	0人	47人
出前	1人	0人	0人	1人
合計	54人	14人	2人	70人

(3) 全体交流会の開催

日時	令和5年9月7日(木) 9:30~11:40
場所	リナシティかのや2階 情報研修室
内容	・「からだのコリをほぐすやさしい運動」 講師：中原 真己氏 (ダンスインストラクター) ・体験発表 2例 (利用会員とサポート会員が1名ずつ発表) ・情報交換会
参加者数	会員14人, 子ども3人

(4) フォローアップ講習会の開催

日時	令和5年11月29日(水) 9:30~12:50
場所	リナシティかのや2階 情報研修室
内容	・乳幼児の緊急救命及び事故防止について (実技を含む) 講師：大隅肝属地区消防組合 中央消防署 職員 ・サポート活動中の事故防止について (イラストシートを使用した演習) 講師：ファミリーサポートセンターコーディネーター
参加者数	14人

(5) 活動回数

・総活動回数 850回 (対前年度比：211回の減)

活動内容	内訳
保育施設等の保育開始時や保育終了後の子どもの預かり	26件
保育施設等までの送迎	231件
放課後児童クラブ終了後の子どもの預かり	0件
学校の放課後の子どもの預かり	0件
冠婚葬祭や他の子どもの学校行事の際の子どもの預かり	1件
買い物等外出の際の子どもの預かり	162件
家事援助	18件
習い事等の送迎	291件

その他	121 件
面会交流時の送迎や預かり	80 件
その他	41 件
依 頼 件 数	850 件

(6) その他

- ① 援助活動に関する事前打合せ件数 47 件
 - ② 会報の発行
鹿屋市ファミリー・サポート・センターだより 2 回発行（会員、保育園等に配布）
 - ③ 広報啓発
 - ・鹿屋市の広報紙・・・3 回 ・社協だより・・・2 回 ・福祉プラザ通信・・・3 回
 - ・社協ホームページ・・・3 回
- ※その他の取り組み
- ・市内の生涯学習施設や子育てひろば，協力店舗などに講習会開催のポスターの掲示を依頼した。

7 つどいの広場事業

乳幼児をもつ親とその子どもが気軽につどい，打ち解けた雰囲気の中で語り合い，相互の親睦交流と保育士による育児相談を行うことなどを目的に，つどいの広場“りな”を開設した。

(1) 子育てアドバイザーの配置

保育士の資格を有するアドバイザーを 3 名配置し事業を実施した。

(2) 利用状況

開 設 日 数	240 日
利 用 者 数	3,144 人（内 講習会等参加者 427 人含む） （対前年度比：560 人の増）
1 日平均の利用者数	11 人（対前年度比：2 人の増）

(3) イベント・講習会 開催回数：24 回 延参加者数 427 人（対前年度比：119 人の増）

(4) 相談件数 80 件（対前年度比：1 件の減）

【主な相談内容】

- ・離乳食や食事について
- ・発達について（人見知り，歩かないなど）
- ・保育園，幼稚園について
- ・きょうだいの接し方などについて



8 鹿屋市指定管理施設（鹿屋市市民交流センター福祉プラザ）の適正な管理運営

高齢者や障がい者をはじめ、すべての市民が健康でいきいきと自立した生活を営み、社会参加活動を行うと共に、誰もが気軽に交流を深めることができる地域福祉活動の拠点施設として、サービスの質の向上と運営の効率化に取り組むとともに、適切な運営管理に努めた。

(1) 鹿屋市市民交流センター福祉プラザの管理運営

① 利用実績等

利用件数	2,362件（対前年度比：518件の減）
利用者人数	16,270人（対前年度比：2,368人の減）
事故・苦情件数	事故件数 0件（対前年度比：増減なし）
	苦情件数 0件（対前年度比：増減なし）

② 福祉プラザ利用団体の登録及び意向調査の実施

ア 福祉プラザ利用登録団体の登録（令和6年3月31日現在）

登録団体数	68団体（内、新規登録団体数：8団体）対前年度比：3団体の増
-------	--------------------------------

イ 福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査の実施

内 容	福祉プラザ利用登録団体の登録継続・抹消に係る意向調査
方 法	令和6年2月5日に、登録団体へ調査票を郵送
件数（調査）	72団体（令和6年2月5日時点の登録団体数）
結 果	・福祉プラザ利用登録団体の登録継続を希望する 67団体 ・福祉プラザ利用登録団体の登録抹消を希望する 5団体

③ 福祉プラザ通信の発行及び配布

発行回数	6回（第176号～第181号）
発行内容	社協実施事業（ファミリーサポートセンター、心配ごと相談、ボランティア事業等）、福祉プラザ利用案内 他
発行部数	毎月約5,000部発行（町内会へ回覧、公共施設等へ配布）

9 ボランティアセンター事業

福祉教育の実践や高齢者、障がい者の方々とふれあう機会の充実など、市民の「福祉の心」の醸成を図るとともに、地域福祉を支えるボランティア活動の充実や福祉イベントを通じて福祉意識の向上を図るなど、ノーマライゼーションの実現に努めた。

(1) 福祉教育の推進

① 福祉イベント（鹿屋市ふれあい健康福祉まつり）の開催 ※鹿屋市との共催

日 時	令和6年1月20日（土）10:00～15:00
場 所	鹿屋市文化会館、中央公民館
協力者数	55人
参加団体数	16団体
対象者	一般市民
来場者数	1,015人
内 容	福祉施設作品展示、サロン展、署名・募金活動 菓子類やアクセサリ等の障がい者団体による物販等

② 福祉ボランティア作文コンクールの実施

対 象 者	小学生・中学生・高校生
応 募 数	34点 [内訳] 小学校 20点, 中学校 8点, 高等学校 6点
審 査 結 果	最優秀賞 4点, 優秀賞 8点
そ の 他	最優秀賞, 優秀賞受賞作品を 社協ホームページに掲載 

③ ボランティア活動推進校における福祉教育の支援

ア ボランティア活動推進校の指定

小学校 20校, 中学校 7校, 高等学校 4校 計 31校

イ ボランティア活動推進校連絡会の開催

日 時	令和5年6月30日(金) 14:30~16:30
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	ボランティア活動推進校の担当教諭等
出 席 者 数	23校 24人
内 容	①児童・生徒のボランティア活動普及事業の事務処理等について (説明: 社協職員) ②講話「学校・地域で育むボランティア活動について」 講師 県社協ボランティアセンター推進員 大迫 元信 氏

ウ 福祉体験出前講座の実施

回 数	11回 (小学校 3回, 中学校 6回, 一般 2回)
受 講 者 数	678人 (小学校 232人, 中学校 319人, 一般 127人)
実 施 先	西原小, 田崎小, 細山田小, 吾平中, 花岡中, 高隈中, 串良中, 田崎中, 大始良中, 第一鹿屋幼稚園, 中央公民館手のん塾 

エ 福祉体験教材等の貸出

高齢者疑似体験セットの貸出	15件: 179セット
車 イ ス の 貸 出	教材 8件: 103台
ボ ラ ン テ ィ ア 手 帳 の 配 布	6件: 242冊
白杖・アイマスクセット貸出	9件: 131セット

オ 児童・生徒のふれあいボランティア活動事業の実施

ボランティア活動認定証発行数 11枚 (内訳) 小学生 6名, 高校生 5名

(2) ボランティアの育成

① わくわくボランティア体験学習（親子で学ぶボランティア体験学習）の開催

日 時	令和5年7月29日（土）10:00～15:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	市内小学1～3年生の親子
参 加 者 数	23名
内 容	<p>①講話（市安全安心課 田中大誠氏，社協職員）</p> <p>②非常食紹介，調理</p> <p>③新聞紙での製作活動</p> <p>④赤十字防災セミナー 講師 日本赤十字社鹿児島県支部 係長 田畑絵利菜氏 日本赤十字社鹿児島県支部 主事 富満 清悟氏</p> <p>⑤水消火器的当てゲーム</p> <p>⑥防災クイズ</p>



② サマーボランティア体験学習の開催

日 時	令和5年8月22日（火）10:00～11:00 事前学習 令和5年8月23日（水）9:00～17:00 体験学習
場 所	特別養護老人ホーム花岡の里，障害者支援施設ゆらり
対 象 者	中学生，高校生，専門学生，大学生等
参 加 者 数	4人（内訳：中学生3人・高校生1人）
内 容	<p>①事前学習 体験学習の概要説明及びボランティア活動の心構えの説明</p> <p>②体験学習 高齢者・障がい者・子どもとのふれあいや軽度な施設業務の体験</p>



③ ボランティア養成講座

日 時	令和5年12月7日（木）14:00～16:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
対 象 者	鹿屋市民
参 加 者 数	15人
内 容	<p>①講話「ボランティアと心のケア」</p> <p>②実技「身近なもので応急手当」</p> <p>講師：日本赤十字社鹿児島県支部 事業推進課参事 砂原加津代氏</p>



(3) ボランティアセンター活動の充実

① ボランティアセンター運営委員会の開催

日 時	令和5年7月7日(金) 14:00~15:00
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
出席者数	ボランティアセンター運営委員10人, 市役所職員1人
内 容	・令和4年度ボランティアセンター事業実施報告について ・令和5年度ボランティアセンター事業実施計画について ・災害時におけるボランティアセンターの役割について

② ボランティア活動に関する相談・情報提供・斡旋

相談件数	103件
相談内訳	ボランティア活動希望9件, ボランティア要請・依頼16件 福祉教育相談12件, その他(保険・収集等)66件

③ ボランティア(個人・団体)の登録状況

個人ボランティア	72人
ボランティア団体	28団体 13,014人

(4) ボランティアの活動支援

① ボランティア活動保険の加入状況

個人ボランティアの活動保険加入	11人(対前年度比:6人の増)
ボランティア団体の活動保険加入	43団体 1,295人 (対前年度比:4団体の減24人の増)

② ボランティア活動保険掛金の助成

期 間	令和5年4月1日から令和5年5月31日までの加入者
助成対象者数	1,235人(対前年度比:39人の増)
助成金合計額	123,500円(1,235人×100円)

(5) 広報啓発活動

社協ホームページ	ボランティア活動情報欄による情報の提供
社協だより	第60号・第61号・第62号・第63号

10 障害者社会参加促進事業

障がい者の社会参加を促進する事業を実施し、障がい者の社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動への参加促進を図った。

(1) 各種奉仕員養成講習会の開催

① 手話奉仕員養成講習会の開催(基礎課程)

期 間	令和5年6月6日(火)~令和5年12月12日(火) 19:00~21:00
回 数	25回(50時間)
場 所	リナシティかのや2階 情報研修室
受講者数	22人
修了者数	18人

② 点訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和5年8月16日(水)～令和5年12月27日(水) 13:00～15:00
回 数	20回 (40時間)
場 所	リナシティかのや2階 ふれあいルーム
受講者数	4人
修了者数	3人

③ 音訳奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和5年6月15日(木)～令和5年11月2日(木) 13:30～15:30
回 数	10回 (20時間)
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	7人
修了者数	4人

④ 要約筆記奉仕員養成講習会の開催

期 間	令和5年7月11日(火)～令和5年12月12日(火) 10:30～13:30
回 数	11回 (33時間)
場 所	リナシティかのや2階 ボランティア室
受講者数	4人
修了者数	2人

⑤ 声の広報等発行事業

文字による情報入手が困難な障がい者のために、点訳、音訳の方法により、市の広報等や障がい者の方々が地域生活を送るうえで必要度の高い情報などを定期的に提供した。

広報種別	提供方法	発行回数	利用人数
広報かのや	音 訳	12回	9人
広報かのやお知らせ版	音 訳	12回	9人
社協だより他	音 訳	4回	9人
	点 訳	4回	3人

(2) 意思疎通支援事業

聴覚障がい者の方々が、円滑な意思疎通を図れるよう意思疎通支援者の派遣を行った。

① 意思疎通支援者の派遣

ア 手話通訳者の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	33件・59人・134時間3分
主な派遣用務	鹿児島国体, 市主催講演会, 病院受診等

イ 要約筆記者の派遣

回数, 派遣人数, 活動時間	6件・16人・15時間20分
主な派遣用務	市主催講演会, 学校行事等

(3) 福祉機器リサイクル事業

不要になった福祉機器について、これを必要とする方に無料で斡旋した。

区 分	提供台数	譲渡希望台数 (うち提供済分)
電 動 ベ ッ ド	3 台	2 台 (3 台)
車 イ ス	5 台	5 台 (5 台)
そ の 他 (シャワーチェア)	2 台	2 台 (2 台)

(4) 福祉機器貸出事業の実施

- ① 車いすの無償貸出 (車いすの貸出：148 件, 184 台)

1 1 高齢者元気度アップポイント事業

65 歳以上の高齢者の健康づくりやボランティア活動に対してポイントを付与し、地域貢献と社会参加による介護予防の推進に努めた。また、全ての年齢層の方が行う在宅高齢者の支援活動に対して、ポイントを付与することで地域における高齢者支援の担い手の育成に努めた。

(1) 高齢者元気度アップ・ポイント事業の登録

登録者数	3,565 人 (内 新規登録者 466 人)	対前年度比：306 人の増
------	-------------------------	---------------

(2) ポイント転換交付人数及び転換交付金

ポイント転換交付人数	976 人	対前年度比：165 人の増
ポイント転換交付金額	3,116,000 円	対前年度比：926,000 円の増

※令和 4 年度活動実績に基づく令和 5 年度交付分

(3) 高齢者元気度アップ・ポイント事業等フォローアップ研修会

	第 1 回	第 2 回
日 時	令和 5 年 9 月 12 日 (火) 10:00～11:30	令和 6 年 3 月 19 日 (火) 10:00～11:30
場 所	リナシティかのや 3 階ホール	リナシティかのや 3 階ホール
内 容	・ポイント付与方法について ・高齢者の健康づくりについて (講師：デイサービスセンターまごころ 松園 タミ子 氏)	・ポイントの交換方法について ・これからの感染対策について (講師：医療法人徳洲会 大隅鹿屋病院 感染管理認定看護師 仮重 喜代美 氏)
参 加 者	139 人	90 人

(4) 高齢者元気度アップ・ポイント事業の普及啓発

高齢者元気度アップ・ポイント事業の普及・啓発を図るため、高齢者サロン等の会合へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

12 高齢者地域支え合いグループポイント事業

65歳以上の高齢者を含む団体の互助活動に対し、ポイントを付与し、その活動を活性化することにより、高齢者を地域全体で支えるよう支援を行った。

(1) 高齢者地域支え合いグループポイント事業の周知及び登録

① 高齢者地域支え合いグループポイント事業の広報・啓発を図るため、高齢者サロン等の会合へ参加し、同事業の概要説明やチラシの配布を行った。

② 活動グループの登録

登録数 301 グループ (内 新規登録団体 34 グループ) 対前年度比：22 グループの増

③ 地区別登録状況 (活動種別) ※休会 8 グループを含む

地区	校 区	高齢者支援				地域活性化			合計
		サロン	運動会	見守り	施設	地域	子育て	子ども館	
東 部	串 良 中	8	5	0	0	0	0	0	13
	上小原中	2	0	1	0	0	0	0	3
	細山田中	5	1	0	0	1	0	0	7
	鹿屋東中	19	18	3	2	2	1	1	46
西 部	第一鹿屋中	16	23	2	1	0	3	0	45
	花 岡 中	10	13	2	0	3	1	1	30
南 部	吾 平 中	26	12	1	3	2	1	0	45
	田 崎 中	4	5	3	1	2	0	1	16
	大始良中	15	11	4	0	1	0	0	31
北 部	輝 北 中	15	6	0	1	1	1	0	24
	鹿 屋 中	18	16	5	0	2	1	0	42
	高 隈 中	5	1	0	0	1	0	0	7
合 計		143	111	21	8	15	8	3	309

(2) ポイント転換交付グループ及び転換交付金

区 分		令和 5 年度	対前年度比
【前期】 4月～9月	グループ数	270 グループ	52 グループ増
	転換交付金	4,298,000 円	990,000 円の増
【後期】 10月～3月	グループ数	276 グループ	38 グループの増
	転換交付金	4,340,000 円	903,000 円の増
合 計	グループ数	288 グループ	39 グループの増
	転換交付金	8,638,000 円	1,893,000 円の増

(3) 高齢者地域支え合いグループポイント事業交流会

高齢者地域支え合いグループポイント事業に登録されたグループを対象に、活動の促進や意識向上を目的として、各地区で交流会を開催した。

	日時	場所	参加者
1	8月21日(月) 14:00~15:30	串良ふれあいセンター 会議室(串良地区)	17名
2	8月22日(火) 10:00~11:30	輝北ふれあいセンター 和室(輝北地区)	14名
3	8月23日(水) 14:00~15:30	大始良地区学習センター集会室(大始良中校区)	23名
4	8月24日(木) 14:00~15:30	西原地区学習センター集会室(第一鹿屋中校区)	23名
5	8月25日(金) 14:00~15:30	東地区学習センター 集会室(鹿屋東中校区)	42名
6	8月28日(月) 14:00~15:30	吾平振興会館 視聴覚室(吾平地区)	17名
7	8月29日(火) 14:00~15:30	高隈地区交流促進センター 交流促進室(高隈中校区)	21名
8	8月30日(水) 14:00~15:30	花岡地区公民館 会議室(花岡中校区)	15名
9	8月31日(木) 14:00~15:30	田崎地区学習センター 集会室(田崎中校区)	19名
10	9月1日(金) 14:00~15:30	リナシティかのや ギャラリー(鹿屋中校区)	25名

(4) 高齢者地域支え合いグループポイント事業フォローアップ研修会

日 時	令和5年11月14日(月) 10:00~11:30
場 所	リナシティかのや3階ホール
内 容	事例発表 <ul style="list-style-type: none"> ・こども食堂ばあちゃん家(子ども食堂) ・祓川ふれ愛(有償ボランティア) ・ふるさと元気風ネット(音楽サロン)
参加者	グループ代表者 約185人



1.3 やすらぎの里づくり支援事業

鹿屋市輝北ふれあいセンターを拠点施設として、住民に対し、様々な取り組みや活動を展開することにより、生きがいつくりや健康維持、生活の質の向上に努めた。

(1) 各種支援行事(講演会等)の実施

① 野菜・花づくり教室

実施回数	2回
日 時	【第1回】令和5年7月18日(火) 10:00~11:30 【第2回】令和5年10月24日(火) 10:00~11:30
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(車庫他)
内 容	【第1回】 ペンタス苗の鉢植/季節野菜(ナス・ピーマン苗)のプランター栽培 (世話人 JAそお営農指導員 福留氏) 参加者数・・・16人

内 容	【第2回】 なでしこの苗/季節野菜(ブロッコリー苗)のプランター栽培 (世話人 JA そお営農指導員 福留氏) 参加者数・・・16人	
受講者数	延べ32人	

② 小中学校学習支援教室

実施回数	2回	
日 時	【第1回】 令和5年8月5日(土) 10:00~11:30 【第2回】 令和5年8月16日(水) 10:00~11:30	
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)	
内 容	【第1回】 書道教室 町内小・中学校全校生徒対象・・・5人 【第2回】 書道教室 町内小・中学校全校生徒対象・・・8人 講師 地元有識者 藤井 正和氏	 
受講者数	延べ13人	

③ 高齢者介護予防歯科講話

実施回数	4回	
日 時	【第1回】 令和5年12月4日(月) 10:00~10:30 (やすらぎサロン3班)・・・15人 【第2回】 令和5年12月6日(水) 10:00~10:30 (やすらぎサロン2班)・・・14人 【第3回】 令和5年12月7日(木) 10:00~10:30 (やすらぎサロン4班)・・・17人 【第4回】 令和5年12月13日(水) 10:00~10:30 (やすらぎサロン1班)・・・13人	
場 所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(会議室/和室)	
内 容	【第1回~4回】 歯科検診及び講話(口腔ケアについて)	
講 師	鹿屋市健康増進課 歯科衛生士4名	
受講者数	延べ59人	

④ ふれあいレクリエーション（前期・後期）

実施回数	8回
日時	<p>《前期》</p> <p>【第1回】令和5年7月3日(月) 13:30~14:30 (やすらぎサロン4班)・・・13人</p> <p>【第2回】令和5年7月5日(水) 13:30~14:30 (やすらぎサロン2班)・・・15人</p> <p>【第3回】令和5年7月12日(水) 13:30~14:30 (やすらぎサロン1班)・・・10人</p> <p>【第4回】令和5年7月13日(木) 13:30~14:30 (やすらぎサロン3班)・・・16人</p> <p>《後期》</p> <p>【第1回】令和6年2月5日(月) 13:30~14:30 (やすらぎサロン3班)・・・16人</p> <p>【第2回】令和6年2月7日(水) 13:30~14:30 (やすらぎサロン2班)・・・10人</p> <p>【第3回】令和6年2月8日(木) 13:30~14:30 (やすらぎサロン4班)・・・18人</p> <p>【第4回】令和6年2月14日(水) 13:30~14:30 (やすらぎサロン1班)・・・11人</p>
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（機能訓練室／和室）
内容	介護予防体操レクリエーション
講師	鹿屋市レクリエーション協会 介護福祉士 松園 タミ子 氏
受講者数	延べ109人

⑤ 高齢者のための料理教室

実施回数	1回
日時	<p>令和6年2月19日(月) 11:30~12:30</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 青菜ご飯 ・ じゃが芋とさば缶のグラタン ・ ブロッコリーのくるみみそ和え
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター（調理実習室／和室）
内容	料理試食及び調理，栄養指導全般
講師	地元有識者 脇田るみ子 氏，弓削恵子 氏，栢山朝子 氏 他1人
受講者数	17人（やすらぎサロン3班）



⑥ 温泉入浴講習会

回数	1回
実施日時	令和6年2月28日(水) 13:30~15:00
場所	鹿屋市輝北ふれあいセンター(和室)
内容	ア やすらぎサロン利用者・・・11名 イ 一般参加者数・・・13名
	 
講師	温泉ソムリエ協会 師範 六三四 氏
受講者数	24人

(2) 鹿屋市通所付添サポート事業の実施

鹿屋市輝北ふれあいセンターに自力での通所が難しい高齢者等に対し、サポーター登録を行い既定の講習を受けたサポーターが送迎を行うことで、高齢者等の社会参加と介護予防等を推進する。

登録者数	19人
延べ利用者数	117人
実施日数	69日
付添サポーター数	4人

(3) 鹿屋市やすらぎサロン事業の実施

高齢者が身近な地域に集い、介護予防又は認知症予防及び人と人が支え合う地域づくりを目指すサロン活動の実施に努めた。

登録者数	71人
延べ利用者数	2,685人(1日平均14.2人)
実施日数	189日

① 買い物等支援

輝北ふれあいセンターのやすらぎサロン利用者で、輝北総合支所やJA輝北支店などに用事や買い物がある方を社協輝北支所の職員が送迎を行なうことで、利用者の利便性を図った。

利用者数	802人
利用状況	A マート (364人), JA 輝北支店 (117人), 輝北総合支所 (78人) 郵便局 (65人), その他 (178人)
運行回数	209回

14 共同募金・歳末たすけあい募金配分金事業

鹿児島県共同募金会からの一般募金及び歳末たすけあい募金の配分金を、様々な福祉活動を行う団体等に配分した。

(1) 一般募金配分金【配分合計額】5,913,000円（対前年度比：59,874円の増）

配分内容	配分金
町内会福祉推進助成金	1,384,000円
福祉活動団体助成金	1,400,000円
地域福祉協議会運営助成	223,000円
高齢者祝品等事業	257,880円
公募助成事業(町内会, ボランティア団体等)	1,087,000円
児童生徒への学習支援事業	227,630円
チャリティグラウンド大会	72,013円
チャリティゴルフ大会	29,702円
輝北地区福祉スポーツ大会	23,650円
ドライブサロンプラス事業(車両リース)	416,790円
こども食堂への助成事業	60,000円
民生委員活動啓発事業	200,000円
レクリエーション用具	80,300円
事業事務経費	451,035円

(2) 歳末たすけあい募金配分金【配分合計額】3,684,000円（対前年度比：356,700円の増）

配分内容	配分金
90歳以上の高齢者世帯(歳末見舞品事業)	726,190円
地域歳末たすけあい助成事業(公募事業)	968,000円
児童福祉施設等への助成金	150,000円
生活困窮者支援	220,000円
広報啓発事業(社協だより)	899,000円
事業事務経費	720,810円

15 共同募金運動への協力

鹿屋市共同募金委員会が実施する共同募金運動に協力した。

(1) 広報啓発活動

- ① 赤い羽根, ポスター, パンフレット, チラシ等募金資材を使った広報
- ② 社協だよりに掲載
【第60号(令和5年4月28日発行)】【第62号(令和5年10月12日発行)】
【第63号(令和6年1月12日発行)】
- ③ 懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)
- ④ 横断幕の設置(リナシティかのや3階北田交差点側に設置)

(2) 赤い羽根共同募金寄付型自動販売機(清涼飲料水)の設置 2台

【社協本所(福祉プラザ内)及び社協本所分室(市社会福祉会館内)】実績 55,412円

(3) 店舗への募金箱の設置 2カ所 (A コープ大始良店, A コープ肝付あいら店)

(4) 募金活動

① 一般募金

ア 運動期間 (10月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和5年10月2日(月)
- ・場 所 市内15ヶ所のスーパー, ホームセンターなど
- ・募金ボランティア数 257人
- ・募金実績 299,396円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 9,256,504円 (前年度比: 62,496円の増)

(内訳)

募金種別	募金額
戸別募金	6,434,050円
街頭募金	299,396円
法人募金	1,127,500円
学校募金	276,747円
職域募金	131,620円
イベント募金	234,134円
個人募金	403,035円
その他の募金	412,518円
合計	9,319,000円



② 歳末たすけあい募金

ア 運動期間 (12月1日から12月31日まで)

イ 街頭募金の実施

- ・実施日 令和5年12月1日(金)
- ・場 所 市内15ヶ所のスーパー, ホームセンターなど
- ・募金ボランティア数 286人
- ・募金実績 327,586円

ウ 各種別及び本支所の募金総額 3,485,784円 (前年度比: 339,224円の増)

(内訳)

募金種別	募金額
戸別募金	2,511,424円
街頭募金	327,586円
法人募金	3,000円
職域募金	136,112円
個人募金	201,786円
その他の募金	305,876円
合計	3,485,784円



③ 各種別募金の内容

- ・戸別募金【町内会の各世帯に募金協力依頼】
- ・職域募金【市内の官公署等の職員に募金協力依頼】
- ・街頭募金【市内の15店舗に協力依頼し、店舗の利用客等に募金協力依頼】
- ・法人募金【市内の企業・病院等に募金協力依頼】
- ・学校募金【市内の小中高等学校等に通学する児童・生徒等に募金協力依頼】
- ・個人募金【一般の個人に募金協力依頼】
- ・イベント募金【各種イベントでの募金活動】
- ・その他の募金【企業や団体が催しなどで得た益金や公共施設等に設置した募金箱、共同募金自動販売機の益金等】

16 災害救援活動

(1) 災害ボランティアセンターの設置・運用に向けた各種団体等との体制づくり

鹿屋市総合防災訓練に参加

日 時	令和5年5月26日(金) 9:00~12:00
場 所	輝北運動場
参加者数	29名

(2) 災害支援事業

火災や風水害等による被災者に対して、社協、共同募金、日赤から救援物資や見舞金を支給した。

災害見舞金	社協	・全焼 4件×20,000円 = 80,000円 【合計 80,000円】
	共募	・死亡 1件×18,000円 = 18,000円 ・全焼 4件×15,000円 = 60,000円 【合計 78,000円】
災害見舞金 災害救援物資	日赤	・死亡 1件×20,000円 = 20,000円 ・被災された5世帯に救援物資(毛布, タオルケット, ブルーシート, 緊急セット)を配布した。

17 日本赤十字社会員増強運動への協力

日本赤十字社鹿児島県支部鹿屋市地区が実施する会員増強運動に協力した。

(1) 広報活動

- ① 5月は日本赤十字社会員増強運動月間として広報啓発に努めた。
 - ・社協だより第56号に掲載(令和5年4月28日発行)
 - ・広報かのか(令和5年4月28日号)を活用しての広報
 - ・ポスター, パンフレット, チラシ等募金資材を使った広報
 - ・懸垂幕の設置(市役所庁舎に設置)
 - ・横断幕の設置(リナシティかのか3階北田交差点側に設置)



(2) 会員募集

- ① 募集期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日
(5月は会員増強運動月間と定めている。)
- ② 納入実績額 8,889,150円 (前年度比:902,650円の減)

(内訳)

区 分	会費額
個人・法人等	7,813,150円
ダイレクトメール	1,076,000円
合 計	8,889,150円